



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT
KOBE PORT
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988
神戸ポートワイズメンズクラブ
〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11
神戸 YMCA 内
Tel 078-241-7204
Fax 078-241-3619
E-Mail: houshi@kobeYMCA.org
http://www.kobeYMCA.org/

第1例会第4水曜日 18:30-20:30
第2例会第1木曜日 19:00-20:30

第401号

2021年5月
"Let's emit bright light from our club at the time of hardship!"

国際会長(IP) Jacob Kristensen (Denmark) "TRUST IN THE RIVER OF LIFE" (命の川を信じよう) (Values, Leadership and Extension)
アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (Singapore) "Make a difference" (変化をもたらそう) "INSPIRE" (奮い立たせよう)
西日本区理事(RD) 古田裕和(京都トウバー) "Let's do it now!" "2022に向け埃を持って All is well."
六甲部部長(DG) 安行英文(さんだ) "行動に信念を、信念は行動に" Believe in what you do. Do what you believe in.

5月強調月間 YMCA サービス・ASF

リーダーシップを学んでください！クラブ・部・区など、あらゆる機械にリーダーシップの学びの場があります。全てを有意義に捉え、スキルアップをして、リーダーシップを身に付けてください。

鶴丹谷 剛 ワイズリーダーシップ開発委員長(神戸クラブ)

<5月第1例会>

GWはゴールデンウィークと思っていましたが、今年は、「Go to Work」だったねと。なるほど、と領きました。今月は、神戸ポートが支援するいくつかの近況をお聞きます。

<記>

- 日時：5月26日(水)19:00～20:20
- 場所：ZOOM 会議室
- ドライバー：大野智恵ワズ
- 開会点鐘：山田滋己会長 ・ ワイズソング
- 聖句・祈祷：丹羽和子ワズ
- スピーチ

「いっくん近況」山本智子さん

- 諸連絡、YMCA 報告
- 今月のお誕生日、ニコニコ、今月の歌
- 閉会点鐘：山田会長

HAPPY BIRTHDAY!

5月17日：井上真二ワズ 18日：大野 勉ワズ
19日：細見俊雄ワズ 21日：中山迅一ワズ
31日：大野智恵ワズ

<2020-2021年度のファンド・累計>

	4月	累計
ニコニコ	2,000円	28,500円
物品販売		15,000円
じゃがいも		310,800円

<3月出席状況>

出席率：75.0%(出席数)12/16(出席率対象会員数)
充足率：52.4%(メン9名、ゲスト&ビジター2名)

<今後の主な予定>

<5月第2例会>

5月6日(木) 19:00～20:20

<5月第1例会>

5月26日(水) ZOOM 会議室

「いっくん近況」山本智子さん

<西日本区大会>

6月5日・6日 京都ウェスティン都ホテル

<6月第2例会> 3日(金) 19:00～場所未定

<6月第1例会> 場所未定

評価・次期への準備

<2021年5月の聖句>

イエスに言った。「先生、この女は姦通をしている時に捕まりました。こういう女は石で撃ち殺せと、モーセは律法の中で命じています。ところで、あなたはどうかお考えになりますか。」イエスを試して、訴える口実を得るために、こう言ったのである。イエスはかがみこみ、指で地面に何か書き始められた。しかし彼らがしつこく問い続けるので、イエスは身を起して言われた。「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい。」そして、また身をかがめて地面に書き続けられた。年長者から始まって、一人また一人と、立ち去ってしまい、イエスひとりと、真ん中にいた女が残った。

ヨハネによる福音書 8章 4-9節

罪を犯して捕えられた女を囲んで緊張が走っています。イエスが愛を説いて女を許すのか、そうすると律法違反になるではないか。さあどうする？イエスを試そうとしています。その時イエスは指で地面に何か書き始められた。と、それも二度もです。様々な思いが錯綜する中、だからこそ、イエスは沈黙の時を作られたのでしょう。かつて寺山修司氏の語った言葉『私たちが今失いかけているのは「話し合い」などでなく、「黙りあい」なのではないか』という言葉思い出しました。今こそ黙りあうことをプラスに、じっくり考える時なのかなと思うのです。(丹羽和子)

2020-2021 年度クラブ役員

【会長】山田滋己 【副会長】宮内伸浩 【直前会長】水野雄二 【書記】宮内伸浩 【会計】丹羽和子、小田浩、手塚貴子 【監事】鈴木誠也 【担当主事】松田道子

「先が見通し辛い時には、焦らず危険を回避しながら進む」 (会長メッセージ)

会長 山田 滋己

5月に入り時々夏日もみられる気温になって来ました。例年であれば屋外での活動や様々なイベントが目白押しの月ですが、昨年に続き新型コロナの感染拡大により、兵庫県にも3度目の緊急事態宣言が発令されています。約1年前(4/7~5/21)第1回目の発令時、1年後の予想は様々でしたが、殆どの方が楽観的な状況を想像し得なかったのではないかと思います。そして今も概ね予想通りの現実となり、これからは直ぐには好転できないだろうとの見通しが多数かと考えます。

このような状況は、阪神淡路大震災直後に思っていた、何時になったら鉄道や道路が元通りに開通できるのだろう、火災で焼けてしまった街はこの後どうなるのだろう等々”先が見通し辛い状況”と似ている気がしますし、同様の事がその後の東日本大震災、熊本地震等の災害時にもあったのだと思います。

先が見通し辛い状況は、大学生の頃、主に実習で海へ出た際、嵐に直面した場合にも同じく感じていました。目的地まで殆ど近づけているのに、そのまま進めば激しい風浪に巻込まれて船ごと危険にさらされる、なのでそんな時は一旦落ちて焦らずに危険を回避するという策をとって来ました。海上で危険な中を無理して進むとすると、最悪の想定は転覆、沈没で全員が命を失うことになりかねません。現在のコロナ禍においても、活動やイベントに癒しや楽しみを求めたい気持ちは誰にでもあるものだと思いますが、今一度、嵐に直面したケース同様、危険を回避しながら先を見通して行ければと思います。

「苦難の時こそ、我がクラブから明るい光を！」をテーマに進んできた今期があと約1ヶ月半になりました。皆さまのお支えにより5月まで進めて来ることができた我々神戸ポートクラブの活動、集大成を迎えられるよう、振り返りつつ残りも着実に進んで行きたいと思っています。

<4月第1例会報告> 4月28日(水)

「単身赴任勤務先の滋賀県にて」 井内朋博

昨年の11月から今年3月まで単身赴任で滋賀県の犬上郡豊郷町で勤務となり、その時の報告をする機会を頂きました。仕事面では、国道8号線に架かる橋の補修工事を冬の寒さに耐えながら無事完成でき、県外の公共事業に少しでも貢献できたことを報告しました。



偶然にも宿舎の目前に YMCA にも関係の深いヴォーリズ氏設計の旧豊郷小学校(登録有形文化財)があったことが起因となり、特に現在の近江八幡市を拠点とされ全国各地で様々な建築物に携わったヴォーリズ氏について知ることができました。この近江八幡周辺は当クラブの水野雄二ワイズの出身地であり、晩年のヴォーリズ氏をお見舞いした経緯について2015に発刊された著書からも伺い知ることができました。今回の滋賀県出張で、このようなご縁があったこともワイズメンならではの出来事でした。

また、安土城址、竹生島、桜満開の彦根城観光や比叡山、伊吹山登山もでき滋賀県の良い所を楽しんできました。

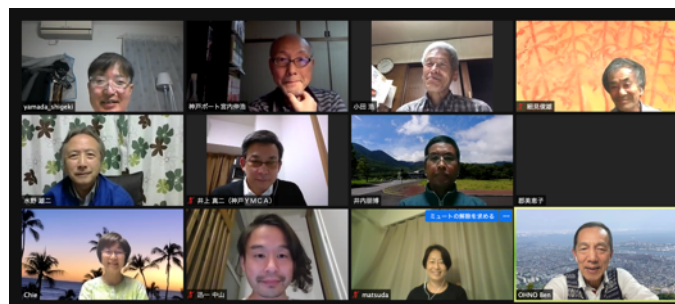


旧豊郷小学校校舎



冬の伊吹山

5月第2例会記録(抜粋)



1.日時:2021年5月6日(木) 18:30-20:20

2.場所:各自自宅他(オンライン)

3.出席者:井内、井上、大野勉、大野智、小田、
郡、中山、細見、松田、水野、宮内、山田、12名

4.内容:

(1)4月第1例会

・日時:2021/ 4/28(水) 18:30-20:30

・場所:各自自宅他(オンライン)

・出席者:メンバー:井内、井上、大野智、大野勉、小田、
中山、水野、宮内、山田:9名
ゲスト:山田会長友人:1名

・出席率: 9+メーキャップ 3(郡、細見、松田)

=12÷16名(出席率対象会員数)=75.0%

・充足率:9+ゲスト&ビジター2=11÷21名=52.4%

・内容: 長期出張先(滋賀県)から戻った井内ワイズによる
メンバースピーチ。近江八幡、自然豊かなヴォーリズ建築等

(2)4月(一部5月)度活動報告

・4/8(木) 19:00-20:20 第2例会 於 神戸YMCA
+各自自宅 等(オンライン(Zoom))

・4/10(土) 西日本区役員会、次期準備役員会

於 ホテルクライトン 大野勉、大野智

- ・4/10(土) 東日本区役員会 大野勉(オンライン)
- ・4/20(火) 神戸西クラブ 第1例会 水野
- ・4/23(金) 18:30-20:30 石巻広域クラブ 第1例会
石巻栄光教会:大野勉、ワライ:井内、大野智、水野、山田
- ・5/5(水) たまねぎファンド淡路訪問、配達:5月中。

(3)5-6月のクラブ例会

- ・5月第2例会:5/6(木) 18:30-20:30 オンライン
- ・5月第1例会:5/26(水) 18:30-20:30 オンライン
ゲスト:山本智子さん(「いっくん近況」)は
オンラインで参加

- ・6月第1例会:6/23(水)
1月移動例会の代替とする案、日曜実施も選択肢
コロナ感染状況を勘案して5月第1例会で判断

(4)今後の予定、他クラブ例会等

- ・5/8(土) 神戸YMCA 創立135周年 創立記念日礼拝
14:00-15:00 於 オンライン(事前申込不要)
- ・5/15(土) 次期六甲部準備役員会 15:30~17:00
(神戸西クラブ周年例会後) 神戸YMCA2階チャペル
(+オンライン)
- ・5/23(日) 京都パレスクラブ50周年記念例会
再延期 2022年4月頃へ
- ・5/28(金) 石巻広域クラブ5周年記念例会
- ・6/5(土)-6(日) 西日本区大会 於 京都 (+オンライン)

5/10(月) 申込締切り

- 申込は各自だが、クラブとしての出席者を把握:山田
- ・6/12(土) 東日本区大会 於 オンライン
申込方法を確認:山田
- ・6/26(土) 14:00-16:00 神戸YMCA 大会 於 オンライン
- ・6/23(水) 第1例会 メインプログラムを5/1(土)に
予定していたチャリティーコンサートの動画を石巻
と中継。また1月に延期としていた次期六甲部部会
会場下見を兼ねた寿楼での第1例会を検討する。
緊急事態宣言が出ていなければの案とし、発令される
場合は再検討とする。外部講師は呼ばない

(5)協議課題

- ・次期(2021-2022年度)の活動について
準備役員会用会長活動方針、指摘事項を盛り込み提出
メンバー役割中、次期会長の明示は見送る
- ・6/5(土)-6(日) 石巻広域クラブとDBC 東京むかで
クラブとのトライアングルDBC 締結式準備中
5/28(金) 石巻広域クラブ 第1例会。締結式に向け
沢山のオンライン出席を。
- ・地域奉仕事業 まなびと移転に伴う支援活動
緊急事態宣言によりリスケ。再設定時期を協議。
5/9に工務店と打合せて調整。6月末までに改装を終え
たいが、緊急事態宣言解除後に再設定する方向。
- ・6月第1例会(6/23(水))入会式について
EMC 事業主任、六甲部部長への連絡:水野、

会員異動届け 山田

- ・ロースター初稿修正締切り(5/31)および取扱い
について関して、要不要の意見を聞く:山田
- ・ヤング(ユース)メンバー特別対応について
【ユースの定義(ワイズ読本より)】
Ys(日本):15-30歳の男女、日本YMCA 同盟:18-35歳
の男女⇒10代後半-30代半ばくらいまでの男女
国際では26-39歳(参考)。原案を作成し協議:山田
- ・EMC についての共通理解(広義会員の考え方等)
- ・"32年間蓄積したクラブの資産の整理、共有 等"資料

<会員投稿>

<新玉ねぎファンドで三方よし! 四方よし!> 大野智恵

淡路島の美味しい新玉ねぎをクラブファンドに活用させていただくことになって、今年で6年目となりました。ワイズメンの繋がりの中でいただいた農家さんとのご縁で、秋のジャガイモと同じく神戸ポートクラブの大切なファンド活動に育っています。農家さん、購入してくださる協力者、ワイズメンズクラブ(神戸ポートクラブと他クラブ)全てにとって嬉しい取り組みになっていると思います。

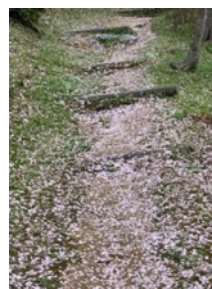
5月5日、コロナ禍において少し遠慮しながらですが、淡路島の農家さんをお訪ねして、仕入れと発送について打ち合わせをさせていただきました。一面に広がる玉ねぎ畑を見ながら、例年ですと気持ちの良いドライブになるのですが、今年は初めて雨の日の仕入れとなり、持ち帰り分の積み込み作業もなかなか手間のかかるものとなってしまいました。来年は、良いお天気での仕入れとなりますように、と願います。

昨年に続いて、今年は神戸YMCA 留学生へ新玉ねぎ20箱を支援させていただきました。他にも、役立てていただけたところがあれば、支援活動にも広げていけたらよいのではないかと考えています。ファンド活動を通じて、ワイズメンズクラブの働きをもっと知っていただき、EMCにも繋がられないかなと、新玉ねぎを目の前にして思いを膨らませています。(大野智恵)



須磨の山歩き

宮内 伸浩

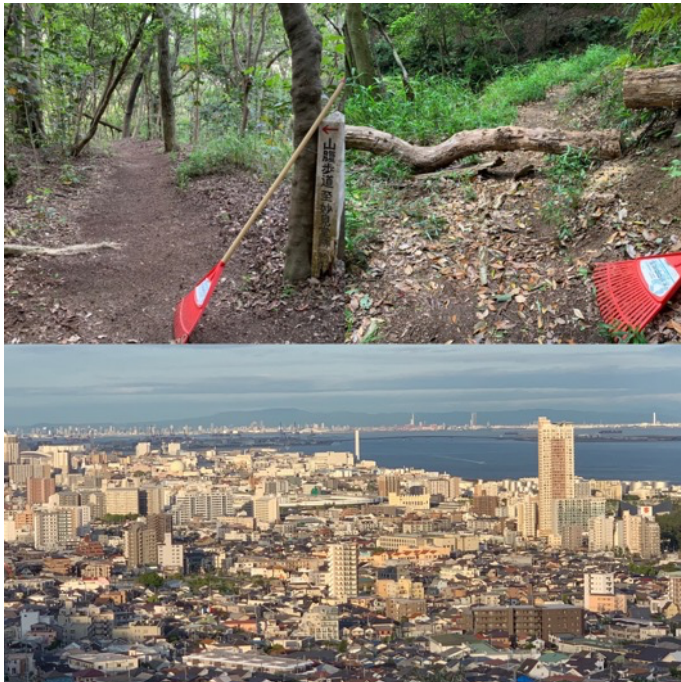


勢いよく緑が芽吹いた樹の下では、花びらが綺麗な絨毯を敷いていました。上ばかり気を取られていたら、美しい思い出を見逃すところです。

我々が生まれる一つ昔、桜の花びらを人に喩えた時代があったそうです。そして、咲いたからには幹のためにきっかりと散ることを強要されたそうです。でも本当は、一人一人が幹の筈。花びらを散らし、葉を落とし、思い出を大地に刻みながら四季のステージを廻ってゆく我々自身です。

4月から走れない日々が続いている。右足かかとに鈍痛が残る。風呂上がりは比較的痛みがないが、座った姿勢から立ち上がると、右足を引きずって歩かないといけなほど痛い。しばらくランは休養。ということで、ウォーキングに専念している。ただ歩くだけは勿体無いので、スマホでらじるらじるの聞き逃し番組や語学学習（英語）を聞いている。それでも手が空いているので、「そうだ！山の落ち葉をそうじしよう！」「そうだ！*Week4Wasteだ！」ということで、熊手（くまで）を持って山へ。いつも通る道（人通りに少ない山腹道）の落ち葉はきを始めた。葉っぱが積み重なったところは滑りやすく、傾斜のある所は歩くのに要注意。手にまめ、胸筋がつってしまうほどの作業だったが、5回通ってやっと頂上に達した。途中、倒木もあり、手鋸でゴシゴシ。切った後は、道から谷へ落とそうと全力でリフティング。久しぶりの筋トレになった。きつかったけれど、達成感はあった。帰りの展望台からの須磨の景色は心癒された。

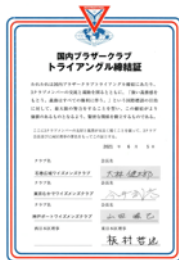
*Week4Waste: 国際会長が推奨する環境保全・地域奉仕活動。



DBC締結に向けて

東京むかでクラブ、石巻広域クラブと神戸ポートクラブの3クラブのDBC（国内兄弟クラブ）締結に向けて準備を進めています。締結書に各クラブ会長の署名は完了しました。あとは、締結式の中で、東西日本区理事に署名をしてもらえば完成です。各クラブの活動の様子やメンバーの紹介を兼ねたプレゼンテーションも作成します。本番の中で上映してもらいます。

締結式は、西日本区大会二日目の6月6日（日）、聖日礼拝の後の10時ごろから15分間程度で行われます。現地参加かZOOM参加で、多くのメンバーが集いましょう。



(1) 4月、神戸YMCA各法人での入園式・入学式・入学礼拝が執り行われました。例年、神戸YMCA学院専門学校は、ホテル学科と日本語学科との合同入学式ですが、コロナ禍にあり日本語学科の入学式が4月下旬となりました。この度の入学式は、2020年度4月、10月の入学式に会場参加できなかった在校生、そして2021年度4月入学生と共に行いました。新入生の中には入国できていない学生もあり、オンラインでの参加となりました。それぞれの立場で入学式に参加し、学習目的を達成しようとする決意をより強固にしました。どうぞ引き続き励ましをいただけますようお願い申し上げます。

(2) 4月26日、こうべ市民福祉振興協会と神戸YMCAが連携のもと、しあわせの村の自然環境を活かし、あらゆる子どもの成長支援及びそれに関わる人材育成の推進に関して相互に協力し、地域の発展に寄与することを目的に、**包括連携協定**を締結しました。これまでもコミュニティサービスセンターが、しあわせの村ユースボランティアの研修を担っておりましたが、さらに新しい取り組みが始まります。しあわせの村にある神戸シルバーカレッジ初代学長の故今井鎮雄さんが、人間が共によりよく生きるための「福祉文化」の担い手を育ててきた地でもあり、より身近なものとなります。

(3) 5月8日、神戸YMCAは創立135年を迎え、創立記念日礼拝を開催いたしました。「一つに集めるために」と中道基夫会長（神戸キリスト教青年会）よりメッセージがあり、「A」アソシエーションとしてのYMCAの役割が語られました。緊急事態宣言発令の中、オンラインでの開催となりましたが、約60名の方々とともに礼拝を守ることができましたことを感謝申し上げます。

(4) 神戸YMCA大会のお知らせ（第一報）

今年度の神戸YMCA大会はオンラインでの開催を決定いたしましたので、第一報をご案内いたします。

日時：2021年6月26日（土）14時～16時

方法：オンライン形式による配信

内容：2020年度の報告・2021年度の方針・計画（総会）

コロナ禍での神戸YMCAの取り組み事例

小グループに分かれてのディスカッション（予定）

（事前書面決議事項もあり）

詳細は、6月初旬にご案内予定です。

編集後記

緊急事態宣言が延長されています。気候穏やかな5月、鯉のぼり泳ぐ5月はどこへ行ったのやら。おまけに統計開始以来最も早い梅雨入り。もう驚くことは何もないと思いがら、びっくりするような事があまりにも多すぎます。命を大切にすべき時に、人の手で命をおろそかにする紛争が止みません。平和は作り出していくものなのです。